

2013年3月1日
京都部 YMC Aサービス主査 山田英樹

『現場・若者・国際』

西日本区大会の所信表明で成瀬晃三理事が高らかに宣言された三つのキーワードです

東日本大震災で現場を体験した若者たちが
それぞれのコミュニティーに帰り、想いを伝え
それがやがて日本の果たすべき国際的な役割へつながる

私自身は理事がお話になりたかったことを
そんな風にとらえています

今期の京都部 Y サユース事業でもそのお言葉に沿ってユース支援を打ち出してきました
本来であればそれはワイズメンにとって最も重要な目的と位置付けられています
ただ現実には反対意見も数多く聞かれ、心無い言葉を耳にしたこともありました

ただ、めげることなく
七転八倒、紆余曲折しながらも
なんとか母体となる組織、若者による現場、を生み出すところまでたどり着きました

ただ、
成瀬理事に直接ご報告できなくなってしまった事が
返す返すも、残念でなりません

でもきっと喜んでくださってることと信じています
少しでもご遺志に沿うことが出来るよう
これからも一步一步ユース支援に取り組んでいきたいと思えます

成瀬晃三理事のご冥福を心よりお祈り申し上げます